

平成 23 年 7 月 29 日

第 124 回 県内企業・業況調査結果

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

[調査要領]	
対象期間	平成 23 年 4 ～6 月期実績見込み 平成 23 年 7 ～9 月期見通し
調査時点	平成 23 年 6 月下旬
対象企業	県内主要企業 505 社
回答状況	回答企業 328 社、回答率 65.0%
特別質問項目	平成 23 年夏のボーナス支給計画について

用語 今 期＝平成 23 年 4～6 月期 来 期＝平成 23 年 7～9 月期
前 期＝平成 23 年 1～3 月期 前年同期＝平成 22 年 4～6 月期
予 想＝前期調査時(平成 23 年 3 月下旬)の今期見通し
D.I. ＝「良い」-「悪い」、「増加」-「減少」、いずれも回答企業割合

1. 今期の業況 ～ やや改善

今期の業況 D.I.は▲29 と、前期(▲31)、予想(▲42)を上回り、景況感はやや改善した。

新幹線全線開通により旅館・ホテル(前期▲80→今期 0)や食料品製造業(同▲46→▲25)を中心に企業マインドの改善が示された。

業況 D.I.を産業別にみると、その他産業(同▲37→▲17)は大幅に改善、製造業(同▲30→▲22)は改善、小売業(同▲30→▲25)はやや改善した。一方、建設業(同▲33→▲44)、卸売業(同▲21→▲55)は大幅に悪化した。

項目別にみると、売上・完工高 D.I.(同▲26→▲21)はやや改善し、損益 D.I.(同▲24→▲15)、資金繰り D.I.(同▲13→▲7)は改善した。

2. 来期の業況見通し ～ やや改善

来期の業況見通し D.I.は▲25 と、今期(▲29)から景況感を引き続き改善する見通し。

業況見通し D.I.を産業別にみると、卸売業(今期▲55→来期▲20)は大幅な改善、その他産業(同▲17→▲11)は改善する見通し。その他産業の旅館・ホテル(同 0→23)の改善は続く見込み。一方、製造業(同▲22→▲22)は横ばい、建設業(同▲44→▲47)はやや悪化、小売業(同▲25→▲36)は大幅に悪化する見通し。

項目別にみると、売上・完工高 D.I.(同▲21→▲20)はほぼ横ばい、損益 D.I.(同▲15→▲17)、資金繰り D.I.(同▲7→▲11)はやや悪化する見込み。

3. 設備投資 ～ ほぼ横ばい

今期設備投資を実施した企業割合は 29%と、前期(32%)からやや低下した。

来期に設備投資を予定している企業割合は 29%と、今期(29%)と同水準の見通し。企業の設備投資意欲は依然として弱い。

4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、「売上・受注不振」(53%)、「競争激化」(51%)の比率が高い。次いで「原材料・仕入品価格高」(25%)、「採算・収益の悪化」(24%)、「人件費等経費高」(14%)、「製(商)品価格の低下」(13%)の順となった。

5. 平成 23 年夏のボーナス支給計画

平成 23 年夏のボーナス支給計画について、「支給する」企業割合は 72%と前年(71%)をわずかに上回った一方、「支給しない」企業割合は 9%と前年(12%)を下回り、ボーナス支給の有無については若干の改善がみられた。

1人当たりの支給額については、前年より「増える」とする割合は 22%と前年(26%)を下回った一方で、「前年並み」とする割合は 58%と前年(53%)を上回り、「減る」とする割合は 20%と前年(21%)を下回った。ボーナスが支給される企業の 8 割で前年並み以上の支給が実施される見込み。

増加率をみると、「1～3%未満」が 30%と最も多く、次いで「10%以上」(24%)、「3～5%未満」(20%)となった。増加の要因は、「社員の意欲向上」(47%)が最も多く、次いで「業績が向上」(44%)となった。

減少率をみると、「10%以上」が 36%と最も多く、次いで「5～10%未満」(29%)、「1～3%未満」(20%)となった。減少の要因は、「業績が悪化」が 72%と大半を占めた。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

榎鹿児島地域経済研究所 (TEL 099-225-7491)

第 1 2 4 回 県 内 企 業 ・ 業 況 調 査 結 果 集 計 表

単位：％

四 半 期 別 状 況 項 目	平成23年1～3月期				平成23年4～6月期					平成23年7～9月期			
	前期 実績				今期 実績					来期 見通し			
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)	前 回 調 査 時 今 期 見 通 し	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	D. I. (A)-(C)
自社の業況	13	43	44	▲ 31	12	47	41	▲ 29	(▲ 42)	9	57	34	▲ 25
製造業	18	34	48	▲ 30	15	48	37	▲ 22	(▲ 41)	7	64	29	▲ 22
建設業	10	47	43	▲ 33	11	34	55	▲ 44	(▲ 59)	6	41	53	▲ 47
卸売業	18	43	39	▲ 21	5	35	60	▲ 55	(▲ 32)	8	64	28	▲ 20
小売業	7	56	37	▲ 30	10	55	35	▲ 25	(▲ 37)	8	48	44	▲ 36
その他産業	9	45	46	▲ 37	15	53	32	▲ 17	(▲ 40)	16	57	27	▲ 11
生産高(製造業)	17	44	39	▲ 22	24	40	36	▲ 12	(▲ 30)	9	62	29	▲ 20
売上・完工高	17	40	43	▲ 26	19	41	40	▲ 21	(▲ 33)	13	54	33	▲ 20
製造業	18	38	44	▲ 26	24	43	33	▲ 9	(▲ 30)	9	64	27	▲ 18
建設業	12	45	43	▲ 31	15	39	46	▲ 31	(▲ 52)	9	42	49	▲ 40
卸売業	26	25	49	▲ 23	5	41	54	▲ 49	(▲ 31)	14	58	28	▲ 14
小売業	19	40	41	▲ 22	16	43	41	▲ 25	(▲ 30)	8	50	42	▲ 34
その他産業	15	45	40	▲ 25	22	41	37	▲ 15	(▲ 30)	21	51	28	▲ 7
製品・商品在庫 (適正水準比)	過剰	適正	不足		過剰	適正	不足						
製造業	11	76	13	▲ 2	12	75	13	▲ 1					
建設業	16	73	11	▲ 5	14	74	12	▲ 2					
卸売業	0	72	28	▲ 28	6	74	20	▲ 14					
小売業	3	83	14	▲ 11	18	76	6	▲ 12					
その他産業	12	78	10	▲ 2	13	68	19	▲ 6					
その他産業	11	78	11	▲ 0	9	80	11	▲ 2					
損益	好転	横ばい	悪化		好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化	
製造業	15	46	39	▲ 24	18	49	33	▲ 15	(▲ 32)	12	59	29	▲ 17
建設業	19	43	38	▲ 19	22	48	30	▲ 8	(▲ 28)	11	61	28	▲ 17
卸売業	10	51	39	▲ 29	13	43	44	▲ 31	(▲ 44)	11	48	41	▲ 30
小売業	15	44	41	▲ 26	3	60	37	▲ 34	(▲ 31)	11	65	24	▲ 13
その他産業	16	51	33	▲ 17	17	54	29	▲ 12	(▲ 30)	12	57	31	▲ 19
その他産業	13	45	42	▲ 29	23	44	33	▲ 10	(▲ 32)	14	59	27	▲ 13
販売価格	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下			上昇	横ばい	低下	
製造業	13	61	26	▲ 13	13	64	23	▲ 10	(▲ 9)	12	69	19	▲ 7
建設業	13	67	20	▲ 7	16	71	13	▲ 3	(▲ 2)	10	78	12	▲ 2
卸売業	9	51	40	▲ 31	0	56	44	▲ 44	(▲ 26)	2	55	43	▲ 41
小売業	19	70	11	▲ 8	14	64	22	▲ 8	(▲ 8)	22	64	14	▲ 8
その他産業	19	50	31	▲ 12	22	49	29	▲ 7	(▲ 4)	21	56	23	▲ 2
その他産業	9	60	31	▲ 22	10	71	19	▲ 9	(▲ 23)	9	76	15	▲ 6
仕入価格	上昇	横ばい	低下		上昇	横ばい	低下			上昇	横ばい	低下	
製造業	39	58	3	▲ 36	36	59	5	▲ 31	(▲ 47)	34	63	3	▲ 31
建設業	39	58	3	▲ 36	50	47	3	▲ 47	(▲ 50)	44	52	4	▲ 40
卸売業	49	49	2	▲ 47	33	65	2	▲ 31	(▲ 75)	30	68	2	▲ 28
小売業	33	64	3	▲ 30	24	67	9	▲ 15	(▲ 31)	33	61	6	▲ 27
その他産業	29	67	4	▲ 25	23	71	6	▲ 17	(▲ 25)	24	74	2	▲ 22
その他産業	44	55	1	▲ 43	31	63	6	▲ 25	(▲ 44)	29	68	3	▲ 26
資金繰り	楽	普通	窮屈		楽	普通	窮屈			楽	普通	窮屈	
製造業	7	73	20	▲ 13	9	75	16	▲ 7	(▲ 17)	8	73	19	▲ 11
建設業	10	78	12	▲ 2	10	82	8	▲ 2	(▲ 13)	8	82	10	▲ 2
卸売業	4	69	27	▲ 23	10	71	19	▲ 9	(▲ 23)	6	66	28	▲ 22
小売業	5	85	10	▲ 5	8	78	14	▲ 6	(▲ 8)	8	81	11	▲ 3
その他産業	4	72	24	▲ 20	4	72	24	▲ 20	(▲ 26)	4	68	28	▲ 24
その他産業	7	67	26	▲ 19	10	71	19	▲ 9	(▲ 20)	9	67	24	▲ 15
雇用人員	過剰	適正	不足		過剰	適正	不足			過剰	適正	不足	
製造業	7	83	10	▲ 3	11	81	8	▲ 3	(▲ 6)	9	82	9	▲ 0
建設業	11	81	8	▲ 3	11	84	5	▲ 6	(▲ 9)	8	88	4	▲ 4
卸売業	4	77	19	▲ 15	25	69	6	▲ 19	(▲ 18)	19	73	8	▲ 11
小売業	11	89	0	▲ 11	11	86	3	▲ 8	(▲ 11)	8	89	3	▲ 5
その他産業	4	80	16	▲ 12	10	80	10	▲ 0	(▲ 9)	8	80	12	▲ 4
その他産業	6	84	10	▲ 4	5	81	14	▲ 9	(▲ 3)	6	79	15	▲ 9

・ 前期比

・ 今期比

第124回 企業業況アンケート調査

回答率

単位：%

	対象企業	回答企業	回答率
製造業	144	102	70.8
食料品	67	48	71.6
繊維	8	4	50.0
木材	4	3	75.0
紙・パルプ	3	1	33.3
窯業・土石	13	11	84.6
機械・金属	19	14	73.7
電機・電子	18	12	66.7
その他	12	9	75.0
非製造業計	361	226	62.6
建設業	65	48	73.8
土木	21	16	76.2
建築	17	13	76.5
総合建設	12	7	58.3
その他	15	12	80.0
卸売業	60	38	63.3
食料品	29	17	58.6
建設資材	10	8	80.0
家電卸売	5	3	60.0
その他	16	10	62.5
小売業	97	52	53.6
百貨店・スーパー	18	7	38.9
衣料品	8	4	50.0
自動車	16	6	37.5
家電製品	6	4	66.7
石油	11	7	63.6
その他	38	24	63.2
その他	139	88	63.3
旅館・ホテル	22	17	77.3
運輸	33	17	51.5
外食	9	3	33.3
サービス	65	44	67.7
農林水産	10	7	70.0
合計(製造+非製造)	505	328	65.0

業況D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
12年	4～6	月期	▲ 23	▲ 14	▲ 37	▲ 50	▲ 13	▲ 24
	7～9	〃	▲ 23	▲ 15	▲ 35	▲ 31	▲ 25	▲ 21
	10～12	〃	▲ 13	▲ 6	▲ 4	▲ 15	▲ 28	▲ 17
13年	1～3	〃	▲ 22	▲ 27	▲ 2	▲ 18	▲ 35	▲ 18
	4～6	〃	▲ 39	▲ 42	▲ 42	▲ 29	▲ 41	▲ 33
	7～9	〃	▲ 41	▲ 51	▲ 30	▲ 43	▲ 39	▲ 28
	10～12	〃	▲ 34	▲ 23	▲ 32	▲ 30	▲ 56	▲ 29
14年	1～3	〃	▲ 34	▲ 31	▲ 44	▲ 37	▲ 36	▲ 28
	4～6	〃	▲ 30	▲ 18	▲ 60	▲ 31	▲ 34	▲ 21
	7～9	〃	▲ 30	▲ 13	▲ 52	▲ 31	▲ 44	▲ 24
	10～12	〃	▲ 18	▲ 6	▲ 29	▲ 22	▲ 42	▲ 19
15年	1～3	〃	▲ 25	▲ 13	▲ 29	▲ 19	▲ 41	▲ 28
	4～6	〃	▲ 35	▲ 16	▲ 58	▲ 25	▲ 58	▲ 29
	7～9	〃	▲ 24	▲ 7	▲ 48	▲ 29	▲ 34	▲ 25
	10～12	〃	▲ 17	▲ 7	▲ 33	▲ 33	▲ 42	▲ 15
16年	1～3	〃	▲ 12	▲ 5	▲ 35	▲ 8	▲ 23	▲ 11
	4～6	〃	▲ 23	▲ 2	▲ 61	▲ 25	▲ 43	▲ 12
	7～9	〃	▲ 21	▲ 8	▲ 37	▲ 27	▲ 36	▲ 14
	10～12	〃	▲ 7	▲ 11	▲ 23	▲ 6	▲ 29	▲ 8
17年	1～3	〃	▲ 24	▲ 16	▲ 31	▲ 17	▲ 33	▲ 31
	4～6	〃	▲ 26	▲ 17	▲ 60	▲ 18	▲ 24	▲ 26
	7～9	〃	▲ 27	▲ 23	▲ 40	▲ 23	▲ 28	▲ 25
	10～12	〃	▲ 18	▲ 2	▲ 28	▲ 8	▲ 29	▲ 25
18年	1～3	〃	▲ 22	▲ 19	▲ 23	▲ 14	▲ 36	▲ 18
	4～6	〃	▲ 25	▲ 17	▲ 42	▲ 17	▲ 32	▲ 22
	7～9	〃	▲ 32	▲ 31	▲ 33	▲ 25	▲ 43	▲ 28
	10～12	〃	▲ 27	▲ 24	▲ 33	▲ 30	▲ 54	▲ 11
19年	1～3	〃	▲ 24	▲ 19	▲ 27	▲ 35	▲ 52	▲ 5
	4～6	〃	▲ 32	▲ 31	▲ 33	▲ 38	▲ 44	▲ 19
	7～9	〃	▲ 38	▲ 45	▲ 31	▲ 41	▲ 51	▲ 19
	10～12	〃	▲ 33	▲ 32	▲ 49	▲ 22	▲ 54	▲ 19
20年	1～3	〃	▲ 34	▲ 26	▲ 49	▲ 32	▲ 52	▲ 26
	4～6	〃	▲ 46	▲ 45	▲ 66	▲ 42	▲ 63	▲ 29
	7～9	〃	▲ 51	▲ 42	▲ 68	▲ 56	▲ 74	▲ 38
	10～12	〃	▲ 51	▲ 42	▲ 66	▲ 48	▲ 76	▲ 39
21年	1～3	〃	▲ 53	▲ 48	▲ 63	▲ 38	▲ 71	▲ 45
	4～6	〃	▲ 56	▲ 59	▲ 65	▲ 42	▲ 63	▲ 48
	7～9	〃	▲ 46	▲ 45	▲ 53	▲ 38	▲ 42	▲ 49
	10～12	〃	▲ 43	▲ 33	▲ 45	▲ 56	▲ 50	▲ 43
22年	1～3	〃	▲ 36	▲ 29	▲ 43	▲ 37	▲ 35	▲ 38
	4～6	〃	▲ 40	▲ 30	▲ 46	▲ 48	▲ 46	▲ 41
	7～9	〃	▲ 42	▲ 41	▲ 59	▲ 42	▲ 39	▲ 41
	10～12	〃	▲ 34	▲ 23	▲ 46	▲ 31	▲ 50	▲ 32
23年	1～3	〃	▲ 31	▲ 30	▲ 33	▲ 21	▲ 30	▲ 37
	4～6	〃	▲ 29	▲ 22	▲ 44	▲ 55	▲ 25	▲ 17
	7～9	月期見通し	▲ 25	▲ 22	▲ 47	▲ 20	▲ 36	▲ 11

(注)D. I. =「良い」-「悪い」

売上・完工高D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業	
12年	4～6	月期	▲ 12	▲ 10	▲ 42	▲ 28	▲ 8	▲ 7	
	7～9	〃	▲ 13	▲ 8	▲ 36	▲ 11	▲ 4	▲ 16	
	10～12	〃	▲ 17	▲ 16	▲ 28	▲ 20	▲ 11	▲ 16	
13年	1～3	〃	▲ 12	▲ 20	▲ 9	▲ 12	▲ 5	▲ 24	
	4～6	〃	▲ 30	▲ 37	▲ 28	▲ 19	▲ 28	▲ 29	
	7～9	〃	▲ 39	▲ 50	▲ 40	▲ 38	▲ 43	▲ 17	
	10～12	〃	▲ 29	▲ 23	▲ 30	▲ 39	▲ 26	▲ 38	
14年	1～3	〃	▲ 30	▲ 33	▲ 33	▲ 38	▲ 24	▲ 22	
	4～6	〃	▲ 26	▲ 15	▲ 56	▲ 32	▲ 21	▲ 21	
	7～9	〃	▲ 18	▲ 7	▲ 46	▲ 25	▲ 20	▲ 22	
	10～12	〃	▲ 18	▲ 2	▲ 25	▲ 14	▲ 26	▲ 33	
15年	1～3	〃	▲ 21	▲ 8	▲ 50	▲ 10	▲ 1	▲ 15	▲ 36
	4～6	〃	▲ 23	▲ 5	▲ 45	▲ 7	▲ 1	▲ 44	▲ 26
	7～9	〃	▲ 13	▲ 0	▲ 35	▲ 17	▲ 1	▲ 18	▲ 14
	10～12	〃	▲ 17	▲ 1	▲ 34	▲ 25	▲ 21	▲ 26	
16年	1～3	〃	▲ 3	▲ 30	▲ 43	▲ 4	▲ 14	▲ 10	
	4～6	〃	▲ 10	▲ 7	▲ 39	▲ 10	▲ 28	▲ 1	
	7～9	〃	▲ 9	▲ 2	▲ 39	▲ 17	▲ 24	▲ 6	
	10～12	〃	▲ 3	▲ 12	▲ 31	▲ 10	▲ 14	▲ 12	
17年	1～3	〃	▲ 21	▲ 22	▲ 41	▲ 7	▲ 18	▲ 19	
	4～6	〃	▲ 12	▲ 9	▲ 43	▲ 7	▲ 7	▲ 20	
	7～9	〃	▲ 17	▲ 21	▲ 40	▲ 13	▲ 3	▲ 12	
	10～12	〃	▲ 12	▲ 12	▲ 30	▲ 9	▲ 5	▲ 16	
18年	1～3	〃	▲ 13	▲ 18	▲ 31	▲ 16	▲ 6	▲ 3	
	4～6	〃	▲ 15	▲ 17	▲ 33	▲ 15	▲ 11	▲ 8	
	7～9	〃	▲ 18	▲ 22	▲ 11	▲ 25	▲ 17	▲ 11	
	10～12	〃	▲ 20	▲ 18	▲ 28	▲ 33	▲ 30	▲ 7	
19年	1～3	〃	▲ 13	▲ 18	▲ 9	▲ 31	▲ 17	▲ 8	
	4～6	〃	▲ 22	▲ 20	▲ 36	▲ 29	▲ 23	▲ 15	
	7～9	〃	▲ 27	▲ 31	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 14	
	10～12	〃	▲ 23	▲ 8	▲ 45	▲ 22	▲ 50	▲ 13	
20年	1～3	〃	▲ 24	▲ 10	▲ 32	▲ 20	▲ 45	▲ 27	
	4～6	〃	▲ 27	▲ 15	▲ 49	▲ 27	▲ 44	▲ 22	
	7～9	〃	▲ 35	▲ 23	▲ 50	▲ 38	▲ 50	▲ 28	
	10～12	〃	▲ 36	▲ 28	▲ 46	▲ 29	▲ 59	▲ 27	
21年	1～3	〃	▲ 50	▲ 44	▲ 40	▲ 38	▲ 74	▲ 50	
	4～6	〃	▲ 55	▲ 53	▲ 56	▲ 52	▲ 69	▲ 50	
	7～9	〃	▲ 49	▲ 53	▲ 36	▲ 38	▲ 57	▲ 50	
	10～12	〃	▲ 47	▲ 39	▲ 38	▲ 65	▲ 49	▲ 53	
22年	1～3	〃	▲ 31	▲ 20	▲ 37	▲ 39	▲ 35	▲ 36	
	4～6	〃	▲ 28	▲ 23	▲ 30	▲ 8	▲ 36	▲ 35	
	7～9	〃	▲ 30	▲ 26	▲ 38	▲ 19	▲ 31	▲ 33	
	10～12	〃	▲ 24	▲ 25	▲ 41	▲ 5	▲ 41	▲ 14	
23年	1～3	〃	▲ 26	▲ 26	▲ 31	▲ 23	▲ 22	▲ 25	
	4～6	〃	▲ 21	▲ 9	▲ 31	▲ 49	▲ 25	▲ 15	
	7～9	月期見通し	▲ 20	▲ 18	▲ 40	▲ 14	▲ 34	▲ 7	

(注)D. I. =「増加」-「減少」

損益D. I. の推移

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
12年	4～6	月期	▲ 9	▲ 1	▲ 34	▲ 24	▲ 11	▲ 21
	7～9	〃	▲ 8	▲ 4	▲ 18	▲ 2	▲ 2	▲ 18
	10～12	〃	▲ 13	▲ 9	▲ 27	▲ 6	▲ 8	▲ 19
13年	1～3	〃	▲ 11	▲ 15	▲ 0	▲ 5	▲ 11	▲ 18
	4～6	〃	▲ 22	▲ 39	▲ 23	▲ 17	▲ 0	▲ 15
	7～9	〃	▲ 29	▲ 41	▲ 29	▲ 23	▲ 30	▲ 17
	10～12	〃	▲ 29	▲ 26	▲ 44	▲ 27	▲ 39	▲ 14
14年	1～3	〃	▲ 21	▲ 22	▲ 40	▲ 15	▲ 16	▲ 17
	4～6	〃	▲ 13	▲ 0	▲ 42	▲ 19	▲ 8	▲ 9
	7～9	〃	▲ 7	▲ 8	▲ 33	▲ 12	▲ 3	▲ 12
	10～12	〃	▲ 11	▲ 7	▲ 19	▲ 16	▲ 20	▲ 19
15年	1～3	〃	▲ 12	▲ 1	▲ 29	▲ 17	▲ 3	▲ 18
	4～6	〃	▲ 13	▲ 2	▲ 25	▲ 19	▲ 16	▲ 13
	7～9	〃	▲ 10	▲ 3	▲ 25	▲ 20	▲ 14	▲ 13
	10～12	〃	▲ 11	▲ 4	▲ 30	▲ 18	▲ 13	▲ 15
16年	1～3	〃	▲ 1	▲ 16	▲ 31	▲ 2	▲ 7	▲ 2
	4～6	〃	▲ 9	▲ 2	▲ 45	▲ 12	▲ 13	▲ 3
	7～9	〃	▲ 7	▲ 6	▲ 35	▲ 9	▲ 10	▲ 2
	10～12	〃	▲ 5	▲ 2	▲ 28	▲ 6	▲ 5	▲ 13
17年	1～3	〃	▲ 18	▲ 11	▲ 41	▲ 0	▲ 20	▲ 26
	4～6	〃	▲ 12	▲ 7	▲ 42	▲ 2	▲ 0	▲ 20
	7～9	〃	▲ 16	▲ 17	▲ 33	▲ 15	▲ 4	▲ 14
	10～12	〃	▲ 13	▲ 11	▲ 30	▲ 5	▲ 9	▲ 17
18年	1～3	〃	▲ 23	▲ 22	▲ 36	▲ 22	▲ 19	▲ 20
	4～6	〃	▲ 22	▲ 21	▲ 25	▲ 9	▲ 35	▲ 17
	7～9	〃	▲ 28	▲ 36	▲ 24	▲ 14	▲ 40	▲ 22
	10～12	〃	▲ 23	▲ 16	▲ 32	▲ 19	▲ 42	▲ 19
19年	1～3	〃	▲ 19	▲ 12	▲ 32	▲ 35	▲ 30	▲ 3
	4～6	〃	▲ 18	▲ 16	▲ 18	▲ 30	▲ 23	▲ 13
	7～9	〃	▲ 24	▲ 29	▲ 27	▲ 25	▲ 28	▲ 13
	10～12	〃	▲ 31	▲ 31	▲ 38	▲ 21	▲ 58	▲ 13
20年	1～3	〃	▲ 29	▲ 25	▲ 36	▲ 29	▲ 40	▲ 23
	4～6	〃	▲ 33	▲ 33	▲ 51	▲ 12	▲ 50	▲ 26
	7～9	〃	▲ 39	▲ 35	▲ 55	▲ 28	▲ 48	▲ 35
	10～12	〃	▲ 46	▲ 37	▲ 67	▲ 41	▲ 53	▲ 42
21年	1～3	〃	▲ 41	▲ 41	▲ 51	▲ 23	▲ 53	▲ 31
	4～6	〃	▲ 38	▲ 42	▲ 50	▲ 26	▲ 33	▲ 35
	7～9	〃	▲ 26	▲ 28	▲ 39	▲ 23	▲ 15	▲ 21
	10～12	〃	▲ 26	▲ 18	▲ 30	▲ 32	▲ 15	▲ 35
22年	1～3	〃	▲ 20	▲ 11	▲ 32	▲ 20	▲ 17	▲ 27
	4～6	〃	▲ 20	▲ 17	▲ 20	▲ 3	▲ 25	▲ 32
	7～9	〃	▲ 22	▲ 19	▲ 30	▲ 17	▲ 21	▲ 27
	10～12	〃	▲ 22	▲ 18	▲ 46	▲ 13	▲ 36	▲ 10
23年	1～3	〃	▲ 24	▲ 19	▲ 29	▲ 26	▲ 17	▲ 29
	4～6	〃	▲ 15	▲ 8	▲ 31	▲ 34	▲ 12	▲ 10
	7～9	月期見通し	▲ 17	▲ 17	▲ 30	▲ 13	▲ 19	▲ 13

(注)D. I. =「好転」-「悪化」

資金繰りD. I. の推移

	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
12年 4～6 月期	0	4	13	6▲	6▲	15
7～9 "	▲13	▲9	2▲	4▲	17▲	26
10～12 "	▲11	▲9▲	2▲	5▲	8▲	26
13年 1～3 "	▲6	▲4	6▲	6▲	8▲	19
4～6 "	▲11	▲16	6	5▲	12▲	22
7～9 "	▲13	▲19▲	7	0▲	14▲	20
10～12 "	▲16	▲12▲	14▲	11▲	22▲	24
14年 1～3 "	▲12	▲9▲	10▲	11▲	10▲	24
4～6 "	▲6	▲2▲	7▲	4▲	6▲	12
7～9 "	▲12	▲5▲	17▲	12▲	13▲	17
10～12 "	▲10	▲4▲	2▲	15▲	19▲	22
15年 1～3 "	▲6	▲14	▲11▲	13▲	13▲	13
4～6 "	▲5	4	8	17▲	17▲	23
7～9 "	▲7	1▲	6	4▲	15▲	17
10～12 "	▲9	1▲	17▲	4▲	17▲	19
16年 1～3 "	▲8	▲5	▲17▲	4▲	19▲	7
4～6 "	▲3	8	5	2▲	20▲	8
7～9 "	▲5	4▲	14▲	2▲	13▲	8
10～12 "	▲3	▲1	0	3▲	13▲	4
17年 1～3 "	▲6	▲4	▲11	0▲	15▲	14
4～6 "	▲5	0	8	5▲	13▲	14
7～9 "	▲12	▲15▲	10▲	4▲	16▲	10
10～12 "	▲12	▲10▲	9	7▲	20▲	17
18年 1～3 "	▲9	▲11	▲5	5▲	26▲	6
4～6 "	▲7	▲5	2	2▲	17▲	7
7～9 "	▲11	▲11	4	0▲	24▲	13
10～12 "	▲13	▲9	13	0▲	28▲	13
19年 1～3 "	▲11	▲14	▲6	0▲	28▲	4
4～6 "	▲7	▲6	4▲	7▲	24▲	8
7～9 "	▲13	▲13	5▲	14▲	24▲	11
10～12 "	▲16	▲12	19▲	5▲	35▲	9
20年 1～3 "	▲18	▲14	▲23	8▲	25▲	17
4～6 "	▲20	▲16	▲25	22▲	34▲	14
7～9 "	▲26	▲20	▲27	23▲	46▲	18
10～12 "	▲24	▲22	▲31	20▲	33▲	18
21年 1～3 "	▲21	▲24	▲8	14▲	39▲	17
4～6 "	▲23	▲22	▲22	19▲	36▲	15
7～9 "	▲17	▲14	▲15	9▲	28▲	17
10～12 "	▲17	▲12	▲12	15▲	29▲	20
22年 1～3 "	▲16	▲7	▲19	10▲	34▲	15
4～6 "	▲11	▲2	▲10	2▲	38▲	11
7～9 "	▲12	▲6	▲12	5▲	27▲	14
10～12 "	▲9	▲5	▲5	10▲	25▲	7
23年 1～3 "	▲13	▲2	▲23	5▲	20▲	19
4～6 "	▲7	▲2	▲9	6▲	20▲	9
7～9 月期見通し	▲11	▲2	▲22	3▲	24▲	15

(注)D. I. =「楽」-「窮屈」

第124回

業況D.I.

	22年4～6月期	23年1～3月期	23年4～6月期		23年7～9月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	▲ 40	▲ 31	▲ 42	▲ 29	▲ 25
製造業	▲ 30	▲ 30	▲ 41	▲ 22	▲ 22
食料品	▲ 36	▲ 46	▲ 43	▲ 25	▲ 17
繊維	0	▲ 40	▲ 40	▲ 25	0
木材	▲ 67	67	▲ 33	▲ 33	0
紙・パルプ	▲ 67	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 100
窯業・土石	▲ 60	37	▲ 18	0	▲ 27
機械・金属	▲ 16	▲ 15	▲ 8	0	▲ 14
電機・電子	0	▲ 50	▲ 50	▲ 34	▲ 34
その他	▲ 12	▲ 38	▲ 88	▲ 44	▲ 56
建設業	▲ 46	▲ 33	▲ 59	▲ 44	▲ 47
土木	▲ 77	▲ 53	▲ 77	▲ 57	▲ 63
建築	▲ 25	▲ 17	▲ 33	▲ 38	▲ 23
総合建設	▲ 55	▲ 22	▲ 44	▲ 43	▲ 71
その他	▲ 27	▲ 27	▲ 73	▲ 37	▲ 37
卸売業	▲ 48	▲ 21	▲ 32	▲ 55	▲ 20
食料品	▲ 65	▲ 37	▲ 44	▲ 69	▲ 20
建設資材	▲ 45	▲ 29	▲ 29	▲ 38	▲ 25
家電卸売	▲ 33	0	0	▲ 33	0
その他	▲ 15	9	▲ 18	▲ 50	▲ 20
小売業	▲ 46	▲ 30	▲ 37	▲ 25	▲ 36
百貨店・スーパー	▲ 56	▲ 11	▲ 33	0	▲ 17
衣料品	▲ 80	▲ 40	▲ 20	▲ 50	▲ 50
自動車	25	▲ 33	▲ 60	▲ 83	▲ 83
家電製品	50	0	0	25	▲ 25
石油・ガス	▲ 50	▲ 14	▲ 29	0	0
その他	▲ 63	▲ 42	▲ 46	▲ 30	▲ 38
その他	▲ 41	▲ 37	▲ 40	▲ 17	▲ 11
旅館・ホテル	▲ 77	▲ 80	▲ 57	0	23
運輸・通信	▲ 28	▲ 37	▲ 27	▲ 13	▲ 7
外食	▲ 40	▲ 75	▲ 75	▲ 100	▲ 50
その他サービス	▲ 40	▲ 27	▲ 48	▲ 31	▲ 35

第124回

売上・完工高D.I.

	22年4～6月期	23年1～3月期	23年4～6月期		23年7～9月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	▲ 28	▲ 26	▲ 33	▲ 21	▲ 20
製造業	▲ 23	▲ 26	▲ 30	▲ 9	▲ 18
食料品	▲ 41	▲ 36	▲ 30	▲ 6	▲ 4
繊維	▲ 25	▲ 20	▲ 20	0	0
木材	▲ 67	67	▲ 33	0	0
紙・パルプ	▲ 67	▲ 100	50	100	0
窯業・土石	▲ 50	0	0	▲ 9	▲ 36
機械・金属	17	▲ 16	▲ 8	16	▲ 23
電機・電子	30	▲ 27	▲ 55	▲ 41	▲ 25
その他	0	▲ 42	▲ 100	▲ 33	▲ 67
建設業	▲ 30	▲ 31	▲ 52	▲ 31	▲ 40
土木	▲ 39	▲ 47	▲ 66	▲ 31	▲ 44
建築	▲ 41	▲ 17	▲ 33	▲ 8	▲ 24
総合建設	▲ 46	0	▲ 34	▲ 57	▲ 83
その他	▲ 9	▲ 45	▲ 70	▲ 41	▲ 33
卸売業	▲ 8	▲ 23	▲ 31	▲ 49	▲ 14
食料品	▲ 33	▲ 47	▲ 55	▲ 75	▲ 27
建設資材	▲ 13	▲ 29	▲ 15	▲ 13	0
家電卸売	33	▲ 50	0	▲ 33	33
その他	38	28	▲ 9	▲ 40	▲ 20
小売業	▲ 36	▲ 22	▲ 30	▲ 25	▲ 34
百貨店・スーパー	▲ 45	▲ 34	▲ 11	▲ 33	▲ 17
衣料品	▲ 80	▲ 20	▲ 20	▲ 50	▲ 25
自動車	75	▲ 37	▲ 60	▲ 100	▲ 67
家電製品	50	0	0	0	▲ 67
石油・ガス	▲ 26	43	13	57	33
その他	▲ 63	▲ 29	▲ 50	▲ 26	▲ 43
その他	▲ 35	▲ 25	▲ 30	▲ 15	▲ 7
旅館・ホテル	▲ 76	▲ 67	▲ 43	13	19
運輸・通信	▲ 10	▲ 16	▲ 6	0	17
外食	▲ 100	▲ 50	▲ 75	▲ 67	▲ 100
その他サービス	▲ 29	▲ 26	▲ 39	▲ 35	▲ 26

第124回

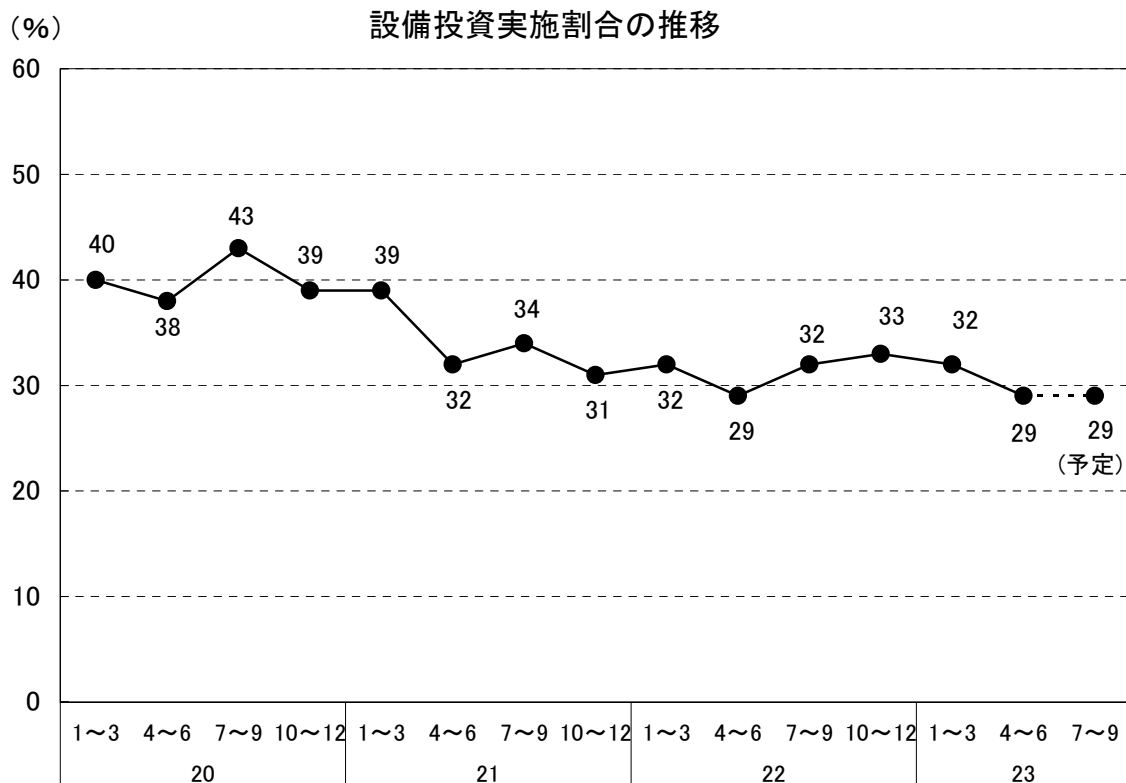
損益D.I.

	22年4～6月期	23年1～3月期	23年4～6月期		23年7～9月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	▲ 20	▲ 24	▲ 32	▲ 15	▲ 17
製造業	▲ 17	▲ 19	▲ 28	▲ 8	▲ 17
食料品	▲ 31	▲ 32	▲ 34	▲ 12	▲ 17
繊維	0	0	▲ 20	▲ 25	0
木材	▲ 100	67	▲ 33	0	0
紙・パルプ	▲ 67	▲ 100	▲ 50	100	0
窯業・土石	▲ 40	0	9	27	0
機械・金属	25	0	0	0	▲ 22
電機・電子	39	▲ 34	▲ 50	▲ 50	▲ 25
その他	▲ 26	▲ 13	▲ 63	0	▲ 32
建設業	▲ 20	▲ 29	▲ 44	▲ 31	▲ 30
土木	▲ 50	▲ 47	▲ 53	▲ 37	▲ 44
建築	▲ 17	8	▲ 28	▲ 25	▲ 8
総合建設	▲ 27	▲ 33	▲ 22	▲ 43	▲ 29
その他	20	▲ 36	▲ 64	▲ 18	▲ 37
卸売業	3	▲ 26	▲ 31	▲ 34	▲ 13
食料品	▲ 17	▲ 42	▲ 42	▲ 53	▲ 23
建設資材	33	▲ 43	▲ 15	▲ 25	0
家電卸売	50	0	0	0	0
その他	0	9	▲ 27	▲ 20	▲ 10
小売業	▲ 25	▲ 17	▲ 30	▲ 12	▲ 19
百貨店・スーパー	▲ 12	30	▲ 22	15	0
衣料品	▲ 40	▲ 60	▲ 40	▲ 50	▲ 50
自動車	50	▲ 33	▲ 60	▲ 67	▲ 67
家電製品	50	33	0	50	25
石油・ガス	▲ 63	▲ 29	▲ 57	15	0
その他	▲ 38	▲ 25	▲ 20	▲ 16	▲ 20
その他	▲ 32	▲ 29	▲ 32	▲ 10	▲ 13
旅館・ホテル	▲ 76	▲ 73	▲ 57	7	19
運輸・通信	▲ 15	▲ 37	▲ 23	▲ 11	▲ 12
外食	▲ 100	▲ 50	▲ 50	▲ 34	▲ 33
その他サービス	▲ 27	▲ 15	▲ 36	▲ 21	▲ 30

第124回

資金繰りD.I.

	22年4～6月期	23年1～3月期	23年4～6月期		23年7～9月期
	前年同期	前期	今期見通し	今期実績	来期見通し
全業種	▲ 11	▲ 13	▲ 17	▲ 7	▲ 11
製造業	▲ 2	▲ 2	▲ 13	2	▲ 2
食料品	2	▲ 3	▲ 4	▲ 2	▲ 4
繊維	25	0	0	25	25
木材	0	33	▲ 33	0	▲ 33
紙・パルプ	▲ 33	0	0	0	0
窯業・土石	0	9	0	0	▲ 9
機械・金属	▲ 16	▲ 15	▲ 22	15	0
電機・電子	▲ 9	0	▲ 17	9	▲ 9
その他	0	▲ 12	▲ 63	▲ 11	0
建設業	▲ 10	▲ 23	▲ 23	▲ 9	▲ 22
土木	▲ 8	▲ 38	▲ 38	▲ 25	▲ 38
建築	▲ 8	9	17	15	9
総合建設	▲ 27	▲ 33	▲ 44	▲ 43	▲ 57
その他	0	▲ 27	▲ 27	9	▲ 9
卸売業	▲ 2	▲ 5	▲ 8	▲ 6	▲ 3
食料品	11	5	0	▲ 6	0
建設資材	▲ 11	▲ 14	▲ 14	0	0
家電卸売	0	0	0	0	0
その他	▲ 25	▲ 18	▲ 18	▲ 11	▲ 11
小売業	▲ 38	▲ 20	▲ 26	▲ 20	▲ 24
百貨店・スーパー	▲ 38	▲ 30	▲ 30	▲ 29	▲ 29
衣料品	▲ 80	▲ 60	▲ 60	▲ 75	▲ 75
自動車	0	0	0	▲ 17	▲ 17
家電製品	▲ 25	0	▲ 33	▲ 25	▲ 25
石油・ガス	▲ 25	0	▲ 14	0	0
その他	▲ 44	▲ 21	▲ 25	▲ 14	▲ 21
その他	▲ 11	▲ 19	▲ 20	▲ 9	▲ 15
旅館・ホテル	▲ 29	▲ 47	▲ 50	▲ 7	▲ 6
運輸・通信	▲ 9	▲ 16	▲ 22	▲ 23	▲ 41
外食	▲ 67	▲ 100	▲ 75	▲ 100	▲ 100
その他サービス	2	▲ 7	▲ 5	0	▲ 7



第124回

設備投資

単位：%

		全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他	
23年 4 5 6 月	実施した	29	35	13	18	21	38	
	投資目的	生産・販売能力増強	53	47	33	43	80	58
		省力化、合理化、省エネ	33	47	67	14	0	24
		経営多角化	2	3	0	0	0	3
		新製品等の研究開発	5	11	0	0	0	3
		その他	24	22	33	43	20	21
実施しなかった	71	65	87	82	79	62		
23年 7 8 9 月	実施予定	29	38	15	18	26	33	
	投資目的	生産・販売能力増強	57	47	43	57	62	70
		省力化、合理化、省エネ	29	45	29	14	23	15
		経営多角化	2	3	0	0	0	4
		新製品等の研究開発	9	16	0	0	0	7
		その他	23	29	43	29	15	11
実施予定なし	71	62	85	82	75	67		

(注) 計数は構成割合、投資目的は複数回答。

設備投資実施割合の推移

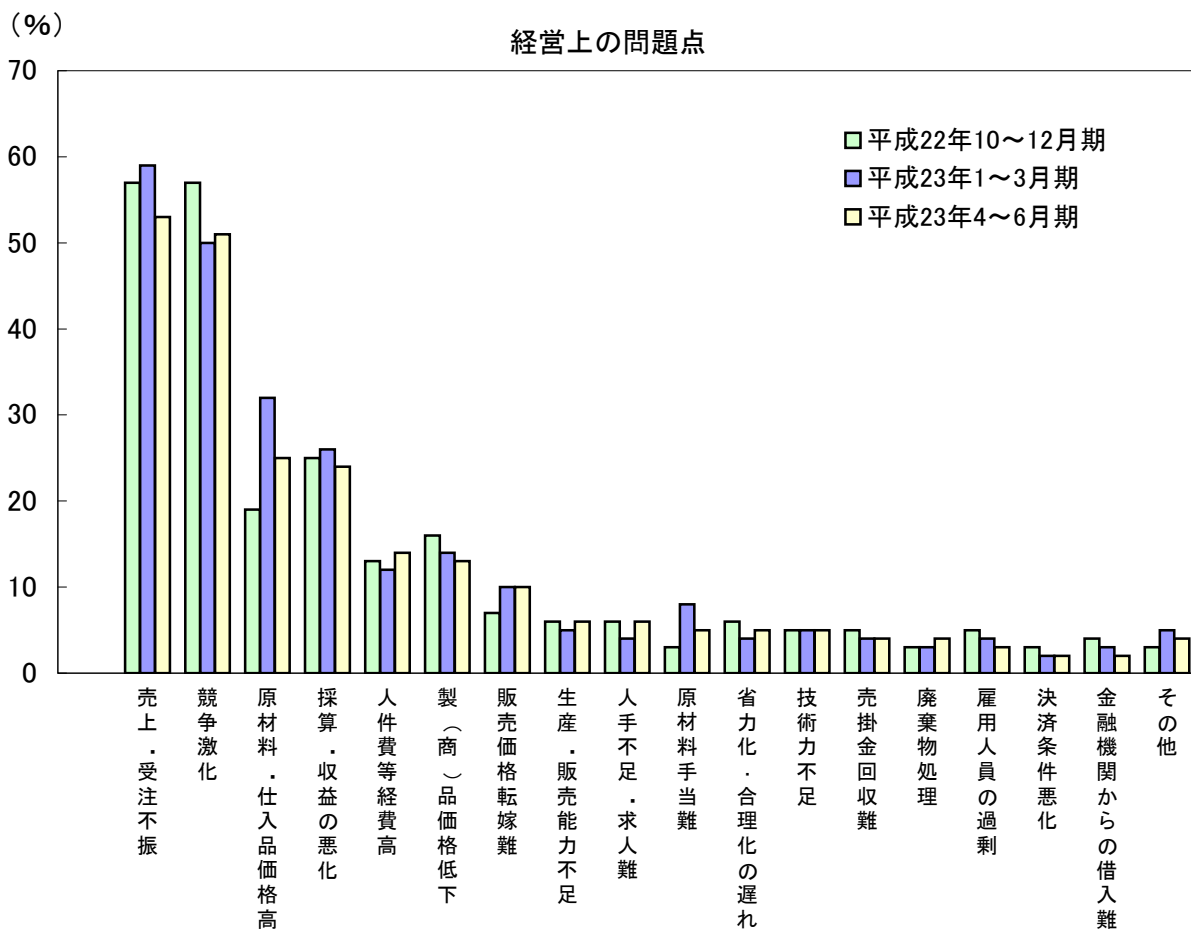
単位：%

			全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他産業
12年	4～6	月期	35	41	26	27	34	38
	7～9	"	36	39	20	43	30	45
	10～12	"	35	45	23	30	30	31
13年	1～3	"	33	40	24	28	22	41
	4～6	"	32	36	24	25	35	31
	7～9	"	34	37	20	33	31	42
	10～12	"	31	40	19	33	29	28
14年	1～3	"	28	30	19	31	27	31
	4～6	"	30	33	15	28	35	35
	7～9	"	33	42	22	28	35	30
	10～12	"	31	37	21	28	27	40
15年	1～3	"	30	40	18	28	24	31
	4～6	"	32	34	14	40	30	38
	7～9	"	33	38	21	30	29	37
	10～12	"	33	43	26	25	22	38
16年	1～3	"	31	45	7	28	30	30
	4～6	"	31	38	33	21	24	33
	7～9	"	35	43	12	24	33	50
	10～12	"	33	36	21	23	36	39
17年	1～3	"	31	35	15	30	24	41
	4～6	"	35	42	26	28	29	39
	7～9	"	39	44	19	35	40	46
	10～12	"	48	59	27	50	39	55
18年	1～3	"	39	48	16	39	40	42
	4～6	"	35	45	15	28	33	40
	7～9	"	34	43	11	27	35	41
	10～12	"	44	50	28	35	44	50
19年	1～3	"	43	50	30	42	41	43
	4～6	"	36	48	20	31	28	40
	7～9	"	42	46	24	38	40	49
	10～12	"	44	58	25	24	42	48
20年	1～3	"	40	50	14	37	38	44
	4～6	"	38	45	11	27	42	45
	7～9	"	43	52	22	33	40	47
	10～12	"	39	49	17	26	29	48
21年	1～3	"	39	55	21	29	32	37
	4～6	"	32	38	14	26	29	37
	7～9	"	34	42	13	25	28	41
	10～12	"	31	40	13	21	27	34
22年	1～3	"	32	43	14	18	27	34
	4～6	"	29	46	16	18	15	28
	7～9	"	32	48	26	23	17	29
	10～12	"	33	35	27	28	19	43
23年	1～3	"	32	45	12	23	27	35
	4～6	"	29	35	13	18	21	38
	7～9	月期見通し	29	38	15	18	26	33

単位：%

	全産業		製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
	回答数	構成比					
売上・受注不振	53	22.5	47	63	60	54	49
競争激化	51	21.6	39	74	54	6	46
原材料・仕入品価格高	25	10.6	38	20	11	13	27
採算・収益の悪化	24	10.2	17	46	16	25	24
人件費等経費高	14	5.9	9	7	11	19	23
製(商)品価格低下	13	5.5	19	13	16	6	10
販売価格転嫁難	10	4.2	17	2	8	6	10
生産・販売能力不足	6	2.5	5	4	3	13	5
人手不足・求人難	6	2.5	2	2	-	8	13
原材料手当難	5	2.1	12	9	-	-	-
省力化・合理化の遅れ	5	2.1	5	-	8	-	8
技術力不足	5	2.1	6	9	-	6	2
売掛金回収難	4	1.7	4	-	11	6	1
廃棄物処理	4	1.7	5	2	3	2	4
雇用人員の過剰	3	1.3	2	7	-	2	4
決済条件悪化	2	0.8	2	2	3	4	1
金融機関からの借入難	2	0.8	2	2	-	2	2
その他	4	1.7	4	2	8	2	2
回答企業数	328		102	48	38	52	88

(注) 複数回答につき計算は $\frac{\text{該当項目の回答数}}{\text{回答企業数}} \times 100$



平成23年 夏のボーナス支給計画(社数構成比)

単位：%

		全産業	前年	製造業	前年	建設業	前年	卸売業	前年	小売業	前年	その他産業	前年	
支給の有無	支給する	72	71	81	76	42	44	71	76	75	78	77	73	
	支給率	月給支給額の1か月分以下	29	27	24	22	37	42	29	25	24	29	32	28
		〃 1か月分超～1.5か月分以下	32	35	32	33	37	37	29	39	41	39	29	32
		〃 1.5か月分超～2か月分以下	25	22	27	25	16	11	29	25	22	16	27	26
		〃 2か月分超	14	16	17	20	10	10	13	11	13	16	12	14
	今夏は支給しない	9	12	11	18	9	15	8	3	9	13	8	8	
未定	19	17	8	6	49	41	21	21	16	9	15	19		
一人当たりの支給額	増える	22	26	27	28	21	25	16	29	18	25	19	25	
	増加率	1%未満	11	10	10	10	0	0	25	25	14	0	9	12
		1～3%未満	30	41	24	30	67	20	0	38	29	40	46	63
		3～5%未満	20	12	19	10	33	0	0	12	14	30	27	6
		5～10%未満	15	8	19	10	0	20	25	0	29	10	0	6
		10%以上	24	29	28	40	0	60	50	25	14	20	18	13
	要因	社員の意欲向上	47	65	47	39	0	80	50	71	60	88	63	69
		業績が向上	44	41	47	54	50	20	50	29	40	75	38	23
		同業他社と比較して低い	3	2	0	8	25	0	0	0	0	0	0	0
		その他	14	11	13	8	25	20	0	14	20	0	13	15
	前年並み	58	53	56	51	58	55	72	57	66	47	51	55	
	減る	20	21	17	21	21	20	12	14	16	28	30	20	
	減少率	1%未満	5	2	8	7	0	0	0	0	20	0	0	0
		1～3%未満	20	14	8	7	50	25	0	50	40	11	19	8
3～5%未満		10	9	0	7	25	0	0	0	40	11	6	17	
5～10%未満		29	33	39	36	0	25	33	0	0	56	38	25	
10%以上		36	42	45	43	25	50	67	50	0	22	37	50	
要因	業績が悪化	72	86	92	93	75	100	67	75	50	67	67	91	
	経営体質強化に向けた人件費圧縮	30	21	17	13	50	0	33	25	17	33	39	27	
	給与と賞与の配分見直し	5	7	0	0	25	33	0	0	0	11	6	9	
	同業他社と比較して高い	0	7	0	0	0	67	0	0	0	11	0	0	
	社員平均年齢低下	2	2	8	0	0	0	0	0	0	11	0	0	
	その他	7	2	0	0	0	0	0	25	33	0	6	0	

注) 計数は構成割合。一人当たりの支給額の増加要因と減少要因は複数回答。

最近の業況に関する主な意見

業 種		
製造業	漬物	製造機械を動かす重油価格の高止まりや震災の影響で調味料の仕入単価が上昇している。
	焼酎	夏場の電力不足を懸念している。一部焼酎の売り上げを被災地へ寄付をする活動を行っている。
		震災以降、関東や東北方面への出荷が減少し、昨年のお跡疫以上の影響が出ている。また、震災後の節約志向から売り上げが減少している。
		震災以降、出荷は急激ではないが減少傾向にある。県外向け出荷の構成比は小さいが、震災の影響が緩やかにでてきた。関東方面の出荷はだいぶ落ち着いてきたが、業務用のお荷は厳しい、との話を聞く。
	かつお節	缶詰工場が集まるタイ・バンコク市場のカツオ相場が高騰し、仕入単価が上昇している。原発事故の発生後、食品の安全確認へのニーズが高まっており、個人から漁獲水域の照会が増えている。
	菓子	新幹線全通のプラス効果が、震災の影響を上回った感がある。復興が進めば、南九州に来る観光客も増加すると思われる。
	木材	震災による納品遅れも回復してきた。
	生コン	大型建築物は鉄骨構造を取り入れており、生コンの利用は減少傾向にある。
	機械・金属	震災により、当社顧客の食肉工場にも被害がでているが、政府の助成金などもあり、来年にかけて復興需要が出てくると思われる。被災地を訪問したが、自動車関連の一部の工作機械には既に強い復興需要があった。
	電機・電子	夏場の電力供給に懸念がある。
印刷	東北の製紙工場で生産する紙が入手しにくい状況にあり、顧客に納期調整や紙の変更等をお願いしている。	
運動用具・用品	取引先が中国や東南アジアなどでの生産を増やしており、国内での生産数が減少している。	
建設業	土木	公共事業の減少により、工事の受注減少を懸念している。
		当期は大型工事を受注できたが、今後は公共工事の減少による競争激化で、上手く受注が出来なくなるのではないだろうか。
	建築	かごしま材を積極的に使って家づくりに取り組む県の「かごしま緑の工務店」に登録された。九州新幹線全通で県外観光客の流入が増えて地域が潤えば、住宅建築の機会も増えてこよう。
		生コンを筆頭に原材料の値上がりしており、収益を圧迫している。
総合建設	震災による復旧予算のため、予算が激減する。特例法案が通過しないので、予算が執行されず、発注がない。	
その他	受注競争の激化により収益率が低下している。従業員の高齢化と技術継承も懸案事項である。	
卸売業	食品卸売	震災で取引先が被災し、原料の価格が高騰しているものや仕入れにくい品物がある。
		震災直後の品不足や売上不振からは徐々に回復しつつある。
		震災の影響でアルコールの消費が居酒屋や業務店などで減少する一方で、水の消費量は増加傾向にある。
建設資材	取引先ホテルの客数が全体で前年を上回る水準に戻りつつあり、当社も夏場以降は売上増加を見込む。	
小売業	百貨店・スーパー	震災の当初は合板や台所用シンク等の住宅機器の入荷遅延が生じたが、徐々に解消した。
		新幹線全通効果と店舗リニューアルの実施で全般的に好調である。
	家電製品	新幹線全通の影響は現状ないが、今後は県外への買い物客の流出拡大を警戒している。
		節電意識の高まりで、エアコンや冷蔵庫等の購入単価が上がっている。一方、テレビは1台目の普及が進み、販売の約8割が2台目の購入となり、購入単価は下がっている。
		5月1日から導入された離島ガソリン流通コスト支援事業でガソリンの値段が下がり、消費者の購買意欲が増している。
石油	震災により水の注文が急増して、一時的に生産が追いつかない状況になった。現在も例年上回る生産を続けている。	
	震災による消費の落ち込みを感じていたが、5月頃から消費マインドは好転しつつある。	
その他	旅館・ホテル	ゴールデンウィーク前後から予約が入り出し、新幹線全通効果を感じている。夏はさらに多くのお客様に利用して頂きたい。
		新幹線全通でシニア層の利用が多いと感じている。ビジネス客は日帰り出張が多いのか、平日の宿泊が厳しい。
	運輸	燃料価格の上昇により、費用が増加している。
		タクシー事業者全体で減車を行ったが、まだ台数は多いと感じる。
		新幹線全通で山陽地区からの団体グループが増加してきた。ただし、首都圏からの観光客は激減している。訪日外国人観光客も回復しつつある。
	外食産業	震災の影響が大きく、売り上げの目安となる航空機利用客が激減している。大阪行きよりも東京行きが落ち込んでいる。
	警備	景気の低迷で解約や値引き要請が増加していることに加え、競争の激化で厳しい経営環境が続いている。
不動産	経費削減等による貸室面積の減床や賃料値下げの要請がある。	